

# 主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	地域医療部
	17046	医療センター設備改修事業	課名	病院総務課 病院総務G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財務	会計 13:病院公営企業会計
	基本施策	02:健康づくり・地域医療の充実	科目	資1:資本的支出
	施策の方向	04:医療センターの機能強化と経営健全化	目	01:建設改良費
戦略プロジェクト	01:「健都さふり」プロジェクト	目	01:建設費	
事業予定期間	H 29 ~ H 30 年度		主な根拠法令要綱等	

② 目的・概要	対象	患者等来院者、職員
	目的	建物の基幹的設備である受変電設備(キュービクル)及びボイラーが老朽化しているため、施設改修により建物寿命の長期化を図り、将来にわたり良質な医療を提供していくものである。
概要	平成2年の開院から30年近くが経過し、老朽化が進む設備について、今後の施設の適切な維持管理のため設備改修工事を実施する。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受変電設備改修工事                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事</li> <li>・設計管理業務</li> </ul> </li> <li>○ボイラー設備改修工事                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事</li> <li>・設計監理業務</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受変電設備改修工事                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事</li> <li>・設計管理業務</li> </ul> </li> <li>○ボイラー設備改修工事                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事</li> <li>・設計監理業務</li> </ul> </li> </ul>		
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受変電設備改修工事 工事はほぼ完了し、改修した受変電設備については年度内に運用を開始している。</li> <li>○ボイラー設備改修工事 本年度については、設計のみ。現場工事の進捗率は0%である。</li> </ul>			
事業の計画・実績	計画額	事業費	130,000千円	153,000千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	124,000千円	149,000千円	
		その他			
	予算額	事業費	76,963千円	20,481千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	70,963千円	20,400千円	
		その他			
	決算額	事業費 ①	76,651千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	70,900千円		
		その他			
人件費	一般財源	6,000千円	4,000千円	0千円	
	総人件費 ②	768千円			
	一般職員	768千円			
	所要人員	0.10			
	臨時職員等	0千円			
総コスト(①+②)		77,419千円			
受益者負担率		0.0%			

				平成29年度	平成30年度	平成31年度
④ 指標	①	名称	受変電設備及びボイラー設備更新工事 進捗率 実施済み工事費／総工事費	計画値 実績値 単位	46 79 %	100  %
		②	名称	計画値 実績値 単位	  	  
		③	名称	計画値 実績値 単位	  	  

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 受変電設備の改修については、旧設備の解体以外の工事をほぼ終え、年度末に新設備の引渡しを受けた。また、ボイラーの改修については、当該年度は設計のみを終え、平成30年度に設置工事を行うこととしている。両改修工事とも当初の計画どおりに進捗している。	A  計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 病院に安定した電力を供給するために必要不可欠である受変電設備を更新したことにより、引き続き良質な医療の提供に努められることになった。また、ボイラーについても、設計が完了し、平成30年度に工事が順調に進捗するように体制が整えられた。	B  まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 受変電設備改修工事については、新設備が順調に稼働し、今後は旧設備を解体するのみであるので、特に課題はない。ボイラー設備改修工事については、工事が順調に進捗し、新設備が予定どおり稼働できるようにしたい。	今後の方向性  <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 監督員及び設計監理業務委託事業者と協働して、工事を進めていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 工事が順調に進捗し、新設備が予定どおり稼働できる。	
対応時期		平成30年度	

【1次評価者】	地域医療部 病院総務課 病院総務グループリーダー 宮村 信廣
【最終評価者】	地域医療部 病院総務課長 古田 秀樹